

L'OCCITANE

グループ人権ポリシー

2024年更新

Groupe
L'OCCITANE



L'OCCITANE

グループ人権ポリシー

2024年更新

はじめに

L'OCCITANE グループでは、事業のすべての側面において、以下のような主要な国際枠組みで定められたものを含め、国際的に認められた人権基準の維持に取り組んでいます。

- 世界人権宣言
- 国際労働機関（ILO）の中核的条約
- 国連ビジネスと人権に関する指導原則
- 経済協力開発機構の多国籍企業行動指針
- 国連グローバル・コンパクト（UNGC）の10原則

当社のポリシーは、UNGC のメンバーとしての自主的な取り組みを受け入れながら、国内法の遵守を確保しています。

化粧品業界で事業を展開する良心的な企業として、当社は事業活動において人権を尊重する責任があることを認識しており、ビジネスパートナーにも同様の対応を奨励し、支援しています。

当社は倫理的な行動と持続可能な事業の両方にとって、人権が本質的な価値を持つことを認識し、前向きな職場環境の醸成、ステークホルダーの信頼構築、事業リスクの軽減に努めています。本ポリシーは、当社のバリューチェーンの下流および上流、ならびに当社の業務に適用されます。本ポリシーを通じて、当社は倫理的なビジネス慣行と社会的責任への取り組みを表明し、それによってすべての人権の実現に貢献します。

当社のビジョンとアプローチ

当社の使命は、グループのすべての行動を導き、エンパワーメントを通じて、人々にポジティブな影響を与え、自然を再生することです。

この使命を果たすために、当社の「企業責任方針および活動規範」では、L'OCCITANE グループに雇用されている、または代表している、あるいは関わりのあるすべての人々に期待される価値観、行動、振る舞いをまとめています。この規範は、強制労働、児童労働、差別の撤廃を含む人権の主要原則に関する最低要件を定めており、安全で衛生的な職場環境を推進するとともに、従業員のプライバシー保護も規定しています。

B Corp™ 認証企業として、当社は、直接の事業運営およびバリューチェーン全体において人権を尊重し、推進することに尽力しています。当社の取り組みは、より持続可能で公平かつ包括的な世界の実現を目指す国際的な基準に含まれる原則の遵守にとどまりません。

また、当グループとそのブランドは、環境保護、教育、健康、自尊心、女性や地域社会のエンパワーメントに焦点を当てた国際的な慈善プロジェクトも支援しています。

当社のバリューチェーンにおける人権

当社はバリューチェーン全体を通じて人権の普遍性を認識しています。UNGC（国連グローバルコンパクト）の「ビジネスと人権に関するアクセラレーター」に参加し、重要性評価を実施した結果、バリューチェーン全体で特定されたステークホルダーにとっての重要な人権問題を認識することができました。これは、これらの問題がこれらのカテゴリーに限定されるという意味ではなく、むしろ、これらの分野におけるそれらの特定の重要性を強調するものであり、すべてのステークホルダーがすべての基本的人権を尊重しなければならないことを確認するものです。

当社の従業員

平等な待遇と機会：L'OCCITANE グループは、誰もが尊重され、大切にされていると感じられる、より多様性があり、インクルーシブな職場環境と組織文化の創造に尽力し、機会の均等に配慮する会社です。機会均等とは、雇用、昇進、報酬、福利厚生、研修、解雇など、すべての雇用に関する決定が、いかなる差別もなく、能力、資格、業務上の必要性に基づいて行われることを意味します。当社は、いかなる種類の差別も受けない職場の育成に取り組んでいます。ILO 条約第 III 号に準拠し、L'OCCITANE グループの全従業員は、人種、肌の色、性別、宗教、政治的意見、国籍、社会的出自に関わらず、公平に、尊厳、敬意を持って扱われています。当社は、この取り組みを性的指向、性別、その他の特性にも拡大し、真にインクルーシブな環境を確保します。

職場における暴力とハラスメントの根絶：当社は、暴力やハラスメントの行為や脅威のない職場環境を提供することに取り組んでいます。L'OCCITANE グループでは、スタッフ、顧客、訪問者、その他いかなる人物に対する実際の暴力やハラスメント、またはその脅威に対して「ゼロトレランス」の姿勢をとっています。当社の従業員一人一人、そして当社の業務において関わりを持つすべての人々は、礼儀正しく敬意を持って接せられるに値します。

安全で健康的な労働環境：L'OCCITANE グループでは、全従業員の安全で健康的な労働環境の確保に取り組んでいます。地域および国際的な健康と安全規制を遵守し、定期的なリスク評価を実施し、包括的な安全対策を実施します。当社の取り組みには、徹底した健康と安全に関するトレーニングの提供、人間工学に基づいた職場環境の維持、メンタルヘルスと健康増進の推進などが含まれます。

生活収入および賃金：当社は、2026 年度までに、L'OCCITANE グループの全従業員が、国際人権 A 規約等に規定される生活賃金水準以上の公正な給与と福利厚生を受け取れるようにすることを目指しています。当社の目標は、公正な報酬と福利厚生の提供者として、公正賃金ネットワークが定義する「最低限度の生活を保障する賃金」の認証を取得することです。この認定を取得することは、当社の社会的責任への取り組みと、従業員の福利厚生と経済的安定を支援する当社の努力を強調するものです。

結社の自由：当社は、結社の自由と団体交渉に対する従業員の権利を認識し、尊重します。L'OCCITANE グループは、従業員の、報復や差別を恐れることなく労働組合を結成または加入し、団体交渉に参加する権利を支持します。

当社のサプライチェーン 購買

児童労働：当社は、サプライチェーン内であらゆる形態の児童労働を防止することに全力で取り組んでいます。当社は、児童労働が発生しないよう全力を尽くし、特定された事例については即座に是正措置を講じるとともに、影響を受ける人々の状況改善に努めています。当社はサプライヤーを厳格に監視し、この取り組みを維持し、国際的な児童労働法を厳格に遵守しています。

強制労働：L'OCCITANE グループはあらゆる形態の強制労働に強く反対しています。当社は、サプライチェーンのすべての労働者が、強制、脅迫、搾取を受けることなく、自由かつ自発的に雇用されることを確実にするために、細心の注意を払っています。この取り組みは、疎外された立場にあるために搾取されやすいことが多い移民を含め、すべての人々に適用されます。当社は、すべての労働者は尊厳と敬意を持って扱われるに値すると信じており、当社の事業全体においてこれらの原則を堅持することに引き続き専心しています。

差別の禁止：当社は、サプライヤーに対し、差別のない職場環境を維持することを求めています。すべての労働者は、人種、性別、民族、宗教、性的指向、その他の特性に関わらず、公平、尊厳、敬意を持って扱われる必要があります。

生活収入および賃金：当社は、サプライチェーン全体で労働者が公正な生活収入を受けられるようにすることに取り組んでいます。この原則を守るために、サプライヤーが労働者に公正な報酬を支払うために必要な価格と費用を支払うことに取り組んでいます。この取り組みは、直接の事業運営にとどまらず、バリューチェーンに関わるすべての人々の福利を支援するという当社の責任を反映しています。

安全な労働環境：当社は、すべての労働者は危険やリスクのない環境で働くに値すると信じています。これを達成するために、当社はサプライヤーと緊密に協力し、厳格な安全基準とプロトコルを実施することに取り組んでいます。これには、定期的な監査、国際的な安全規制への準拠、継続的な改善への取り組みが含まれます。

当社の消費者

健康に対する権利：消費者の人権を尊重することは、特に製品の安全性と消費者の健康に対する潜在的な影響に関して、当社の取り組みの重要な部分です。当社は、当社の製品が意図した消費者向けに安全であることを保証することに取り組んでいます。

情報に関する権利：消費者の権利に専念する企業として、当社は情報の権利の重要性を認識しています。原材料、原産地、潜在的なリスクなど、当社の製品に関する透明性が高く正確な詳細情報を提供することで、消費者は情報に基づいた選択を行うことができます。当社は情報に基づいた市場を促進することで、消費者の自律性を支援し、責任ある意思決定を奨励しています。

プライバシーとデータ保護：消費者の皆様は当社を信頼して個人情報を託してくださっており、当社はお客様のプライバシーと情報のセキュリティの尊重に取り組んでいます。個人情報の収集から利用、保存、共有に至るまで、その取り扱いには、あらゆる段階で厳格な手続きが実施されています。これらの措置は、本当に必要なものに限定され、正当な目的に比例したものとなります。

公正で責任あるマーケティングの権利：美容と健康関連製品の製造・販売会社として、当社は、当社製品のマーケティングおよび広告における人種、性別、社会経済的な固定観念の撤廃に積極的に取り組んでいます。当社は、コミュニケーションにおいてジェンダー、人種、クラス、性別を考慮することで、社会の規範に挑戦しています。

地域社会

良好な生活環境：地域社会に影響を与える事業を展開する化粧品会社として、当社は環境の持続可能性を確保し、バリューチェーン全体を通じて良好な生活環境を推進する責任があることを認識しています。当社は、大気や水質汚染を含む環境への影響を最小限に抑えるという当社の熱意を共有するステークホルダーと提携するよう尽力しています。資源保全、汚染防止、生態系保護などの持続可能な取り組みを通じて、当社は、地域社会と地域社会の人々が依存する自然環境の健康と幸福を守ることを目指しています。

実施とデューデリジェンス

実施：

L'OCCITANE グループは、人権を尊重するという当社の取り組みに沿って、事業活動とバリューチェーン全体でこのポリシーを実施するための厳格な手順を確立しています。このポリシーは、L'OCCITANE グループのコーポレートサイトで、外部の利害関係者、サプライヤー、ビジネスパートナーが一般にアクセスできるようになっています。また、社内コミュニケーションチャンネルを通じて入手することもできます。さらに、各マネージャーは、従業員がこのポリシーを認識し、理解し、遵守することを確認する責任があります。

デューデリジェンス - 苦情へのアクセス：

当社は、当社の活動に関連する潜在的な人権への悪影響を特定、防止、緩和、説明するためにデューデリジェンスを実施することの重要性を認識しています。そのために、戦略的計画から日常業務まで、人権に関する考慮事項を意思決定プロセスに組み込んでいます。当社のデューデリジェンスの取り組みには、包括的なリスク評価、ステークホルダーの関与、サプライヤー評価、継続的な監視とレビューのメカニズムが含まれます。これらの措置を通じて、当社は国際的な人権基準に定められた原則を遵守し、当社の事業活動が当社の事業に影響を受ける個人や地域社会の福利に積極的に貢献することを目指しています。当社の苦情管理プロセスは、人権への取り組みの不可欠な部分です。L'OCCITANE グループが事業関係に直接関連する人権への影響を特定した場合、サプライヤーとビジネスパートナーの間で人権コンプライアンスを促進するためにその影響力を活用します。これには、是正措置計画の実施、または必要に応じて契約関係の終了が含まれる場合があります。

デューデリジェンス - 救済措置へのアクセス：

当社のスピークアップポリシーと透明性および説明責任への取り組みに沿って、当社はバリューチェーン全体で導入されたコンプライアンス違反を通報する仕組みを確立しました。このチャンネルは、当社のコーポレートウェブサイトで公開されており、特に人権問題に関して、当社のポリシーの潜在的または実際の違反に関する通知を収集することを目的としています。L'OCCITANE グループは、従業員およびビジネスパートナーやサプライヤーなどの外部の第三者が、独立した第三者が運営するコンプライアンス違反を通報する仕組みを通じて、匿名で機密保持された安全な苦情報告プロセスにアクセスできるようにしています。このシステムは、当社のバリューチェーン全体ですべての個人が利用できます。当社は、これらの問題を徹底的に調査し、適切な対応と解決策を提供することに取り組んでいます。

管理：

L'OCCITANE グループの人権ポリシーは、当社の会長および最高経営責任者によって監督および承認されています。当社のすべての業務およびパートナー企業において、当社は人権方針を効果的に実施するために、ビジネスと人権に関するタスクフォースを設置しました。このタスクフォースは、当社の人権に関する取り組みの優先事項の監視と進捗状況の追跡に専念しています。

Reinold Geiger
Chairman
L'OCCITANE Group

改訂履歴

日付	公開	作成者	トラッキングノート
2024年10月	1.0	責任ある調達部門	初版公開